

代表者名	網 幸 太	所 管 部 課 名	農林水産部林業木材産業課
所 在 地	能代市字海詠坂11番地の1	設 立 年 月 日	平成4年9月17日

【沿革及び県の出捐理由】

木材高度加工研究所の研究成果を、木材業界へ円滑に移転するための機関として、秋田県、能代市、秋田県木材産業協同組合連合会等の出捐により平成4年9月17日設立。平成7年4月研究所設置時に、研究所内に併設。

【出捐者】（23年度当初） (千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	300,000	50.0
市町村	1	151,000	25.2
その他	230	149,000	24.8
計	232	600,000	100.0

【事業】

①主たる業務

1. 情報提供事業
2. 技術研修事業
3. 技術指導・移転事業
4. 各種性能試験

②事業実績 (件)

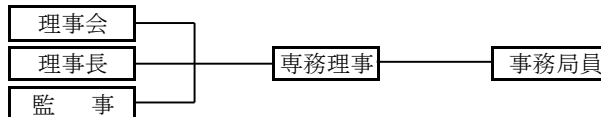
事業名等	20年度	21年度	22年度
技術相談件数	132	125	99
コンサルタント巡回指導	1	4	5
各種性能試験	112	105	116

③22年度事業概要及び23年度事業計画・目標

◎平成22年度事業概要 ○情報提供事業：情報誌発行3回、研修会開催2回○技術研修事業：研修会開催1回○技術移転指導事業：技術相談99件、現地指導2件、企業訪問110回○依頼試験等事業：依頼試験106件○木を学ぶ建築講座開設事業6回
◎平成23年度事業計画 ○木材高度加工研究所の研究成果等の情報提供○企業の技術開発活動の支援○木材関連製品の性能表示等のための依頼試験対応

【組織】

①運営機構



②役員数 (H23. 7. 1現在) (人)

	理 事	監 事
常勤	1	
内、県退職者		
内、県職員	1	
非常勤	16	2
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	17	2
内、県関係者	2	

③職員数 (H23. 4. 1現在) (人)

正職員	正職員	正職員
内、県退職者	平均年齢	平均勤続年数
3	歳	年
出向職員		
内、県職員	2	
臨時・嘱託	2	
内、県退職者		
計	5	千円
内、県関係者	2	

役員報酬支給対象者数	人
役員報酬支給対象者平均年齢	歳
平均役員報酬額	千円/年

【財務】

①損益状況 (22年度) (千円)

	金 額
経常収入 A	26,873
受託事業収入	2,416
補助金収入	2,792
自主事業収入	10,462
運用益収入	10,084
その他	1,119
経常支出 B	30,897
人件費	14,501
その他	16,396
経常損益 C = A - B	△ 4,024
経常外収入	
経常外支出	
諸税	82
当期損益	△ 4,106

②財務状況 (22年度末) (千円、%)

	金 額	構 成 比
流動資産	17,567	2.8
固定資産	600,144	97.2
資産計	617,711	100.0
流動負債	2,246	0.4
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	2,246	0.4
基本金	600,000	97.1
剰余金	15,465	2.5
正味財産計	615,465	99.6
負債・正味財産計	617,711	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
----------	------	-----	-----

【県の財政支出】 (千円)

	20年度	21年度	22年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	946	946	946	木材産業体質強化推進指導事業
委託費	15,231	2,874	2,416	木を学ぶ建築講座開設事業、乾燥技術力向上支援事業
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	20年度	21年度	22年度	20-21増減	21-22増減
健全性	自己資本比率	%	99.24	99.47	99.64	0.23	0.17
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	500.70	689.59	782.15	188.89	92.56
収益性	剰余金 (▲欠損金)	千円	19,137	19,571	15,465	434	▲ 4,106
	経常利益率	%	2.37	1.56	▲ 14.97	▲ 0.81	▲ 16.53
	総資本利益率	%	0.46	0.17	▲ 0.65	▲ 0.29	▲ 0.82
発展性	経常収入額	千円	122,035	67,787	26,873	▲ 54,248	▲ 40,914
効率性	総資本回転率		0.20	0.11	0.04	▲ 0.09	▲ 0.07
	職員1人当たり経常収入	千円	24,407	13,557	5,375	▲ 10,850	▲ 8,182
	人件費比率	%	6.98	15.40	53.96	8.42	38.56

2 経営目標の達成状況

経営目標			20年度	21年度	22年度	23年度
経営改善指標	事業収入 (千円)	目標	4,000	4,000	4,000	4,000
		実績	10,942	9,348	10,461	
経営改善指標	管理比率 (%)	目標	10	10	10	10
		実績	9	19	52	
事業成果指標	企業訪問・指導件数 (件)	目標	120	120	120	120
		実績	132	125	110	
	依頼試験件数 (件)	目標	90	90	90	90
		実績	112	105	116	
顧客満足度指数	目標	85	85	85	85	
	実績	87	83	88		

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

平成22年度は、自主事業である事業収入が増加したものの、補助金等の収入が大幅に減少したため、当期は赤字となった。

平成23年度においては、補助金等の増加は見込めるものの、さらに自主財源収入の確保と管理費支出の抑制に努めていく必要がある。

<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>

顧客満足度については、昨年度と比較して5ポイント増加し、目標を3ポイント上回っており、サービス内容が利用者による認知度を高めた成果と言える。今後も実施しているサービスの質、内容を充実させるとともに、利用者に対する認知度を高めていく必要がある。

4 総合評価 (計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<p>・木材抽出成分高度利用技術開発事業が終了し、事業規模が縮小した。一方、人件費が年々増加しており、当年度は前年度の経常利益1百万円から経常損失4百万円となった。</p> <p>・研究支援事業については、単年度で収支が対応するものではないとのことであるが、当年度の収支は前年度の135千円の赤字から約2百万円と赤字額が急増している。</p> <p><早期の改善が望まれる事項></p> <p>・年間収支が赤字である事業については、資産の管理方法を見直し、必要に応じて、事業費へ充当するため取崩しを行う等、法人全体の収支構造を再構築する必要がある。</p>	